



H.C.R. 2014 福祉機器利用者アンケート 回答の概要②

3月6日発行の本ニュースNo.3では、アンケート集計結果のなかから、福祉機器の①情報の入手方法、②相談窓口、③利用にあたって望まれること、④開発や利用についての意見・要望を掲載しましたが、同号でご紹介できなかった「福祉機器に対する不満」について本紙にてお知らせいたします。

5 福祉機器に対する不満

「福祉機器に日頃感じている不満」について、フリーアンサー形式で回答を求めたところ、「価格の安さ」への希望はもちろんのこと、「年々操作が複雑になってきているが、簡便さ、使いやすさに配慮してほしい」「使用していて、危険や不安を感じることもある。安全性をより意識してほしい」などといった意見が多数寄せられたほか、重量、サイズ、細かなフィット感などで使用上の不満を感じているという声が目立ちました。製品の品目ごとの回答は次のとおりです。

1 手動車いす

- ① ブレーキに不満があります。かけにくいですし、利きがすぐに悪くなります。
- ② ネジが露出していて足に当たったり、足元の部品に足を引っかけた怪我をするなど、危険な部分が多いと思います。
- ③ 簡易的なベルトが付いているのですが、マジックテープなので固定が弱いのです。
- ④ 軽量、折り畳み、簡便化を進めてほしいです。特に軽量の製品に関しては、レンタルできるものを増やしてほしいです。
- ⑤ メンテナンスをきちんとしてくれる場所が近くにないので、困っています。
- ⑥ 車いすを自動車で乗せたり降ろしたりする際に、重たすぎます。もっと軽くなって、一人でも自動車からの出し入れが楽になるとありがたいです。
- ⑦ そもそも車いす自体が日本家屋での使用には適していないと思いますが、トイレなどの行き来では使用せざるを得ず、不満を募らせています。
- ⑧ すべての車いすが、簡単に高さ調整ができるようになってほしいです。
- ⑨ 介助者として車いすを押すことが多いのですが、身長が高いため、車いすを押すためのグリップが低くて、腰が痛くなってしまいます。
- ⑩ 乗っていて、後方確認する方法がありません。サイドミラーがほしいです。

2 電動車いす／電動スクーター

- ① 速度の遅さ、バッテリーの減りの早さ、走行距離の短さなどに不満を感じます。
- ② 介護保険の法律が難しく、レンタルしにくい点が困ります。
- ③ 暗い場所を走行するのに、不自由を感じることがあります。
- ④ ずっと使用していて使い慣れていた製品が廃版になってしまい、大変苦慮しています。

3 車いす関連用品

- ① 掃除やお手入れが大変な用品が多いと思います。
- ② 雨天時の使用について、配慮がされていない製品が多いです。

4 歩行器／歩行補助車

- ① 歩行器にスーパーマーケットのカゴが乗らないのは、とても不便です。
- ② フィットングが難しく、なかなか自分の身体にぴったり合う製品が見つかりません。
- ③ しっかりとした歩行器は取り扱いが複雑なので、高齢になってくると負担を感じます。私自身も、そうした理由から安全性より使いやすさを優先させる結果となり、量販店で小さなタイプのものを買ってしまいました。

5 杖

- ① 折りたたみ式の杖について、折りたたんだときにもっと短くなるとありがたいのと、長さ調節をするネジが固いので、工夫があるとありがたいです。
- ② 杖の溶接部が破損しやすいです。

- ③ 車いすを使って移動しているときの、持ち運びに苦労してしまいます。

6 移乗補助機器

- ① シャワー入浴（足浴）をしているときに、イスが外れて危険な思いをしたことがあります。

7 据置式・固定式リフト

- ① どうしてもスペースをとられてしまいます。もう少しコンパクトなものがあればと思います。

8 障害者用自動車運転装置

- ① 障害者自身が運転することを想定した車両や装置が、まだまだ少ないと思います。
- ② チェアキャブを個人で使っていますが、長距離の運転では安全上や乗り心地の面で無理があり、結局、普通のシートに乗って車いすだけを後ろに積み込むというような使い方になってしまっています。この点をもう少し改善できればと思います。
- ③ 総じて価格が高いです。もう少し安くなってくれればと思います。

9 福祉車両

- ① スロープの操作方法がとても複雑で、マニュアルをよくよく読まないで理解できません。
- ② 最近買い替えをしたのですが、以前使っていたものの方がよかったです。だんだん操作が複雑で、面倒臭くなってきている気がします。

10 ベッド

- ① ギャッジアップのスピードが遅いです。
- ② 頭と足が同時に上がるため、体を起こす際に下にすれてしまうことがあります。
- ③ 開閉が難しく、危険を感じます。足のみを拳上したくてもできなくて、布団などで対応している状況です。
- ④ 要介護度2以上でないと福祉用具貸与ができないというのは、生活上の問題につながります。
- ⑤ 頭を高くすると、ベッドパットと頭上部のボードの間に手が入るほどの隙間ができて危険な状況になりますし、タオルや物が落ちてしまいます。
- ⑥ ベッドを置いた箇所の床の掃除がしにくいので、ほこりがたまり、不潔な状態になってしまいます。
- ⑦ 組み立てが簡単で、軽量で、持ち運びしやすいベッドがあるとよいと思います。

11 マットレス・床ずれ防止製品

- ① エアーマットは、まだまだ使いづらいと思います。

12 浴槽

- ① 他のさまざまな福祉用具と適合するように配慮された浴槽が少ないと感じます。
- ② 介護者へのさらなる配慮を希望します。利用者に乗せた状態で浴槽に入れる際、用具が小さく（狭く）て利用者が動かせない場合があります。

13 入浴用チェア

- ① 手入れをしていても、シートや手すりすぐにカビが生えてしまい、取れにくい（洗剤で落ちない）のが困ります。
- ② 軽量化が過ぎたのか、不安定で、全介助の方の入浴時の固定が確実にできないケースがあります。



14 滑り止め用品

- ① 汚れが落ちにくいことと、カビの発生について、対策を研究していただけるとありがたいです。

15 浴槽台

- ① 水切れが悪く、汚れがたまりやすいのが困ります。
- ② 滑ることへの恐怖心が、どうしても払拭できません。

16 入浴用リフト

- ① ベルトの素材が悪くて、皮膚炎になってしまいました。
- ② 浴室や浴槽の改造なしで使えるものが、開発されるとよいと思います。

17 ポータブルトイレ

- ① 臭いと汚れの問題は、まだまだ研究・開発が必要だと思います。
- ② 利用者にベストフィットする商品が見つかりにくく、困っています。

18 便器・便座

- ① 受け口が小さすぎることを痛感する場面があります。

19 トイレ関連用品

- ① リハビリパンツの又上が長いと、腰の曲がった母には、上げ下ろしに時間を要するために体に負担がかかり、気持ちが落ち込む様子もみられます。確かに、排泄による衣類の汚れは解決できるので介助者の負担軽減にはなりますが、本人の精神的なダメージがあるように思います。

20 おむつ関連用品

- ① 特に子どもの仕様では、ぴたりとサイズが合うものが少なく困ります。
- ② 漏れの問題が一番深刻なので、サイズを選ぶ際に迷ってしまいます。1枚のみのパッケージがあるとよいと思います。
- ③ 腰回りとお尻のサイズが個人によって違うため、たとえば、肉付きが少ない方などはおむつの厚みが足りなくて漏れてしまったりします。サイズの多様化を望みます。

21 靴

- ① 若くして片麻痺になった人が履けるような靴が、見つかりませんでした。

22 補聴器

- ① 高齢者にとっては、スイッチが小さくて、使いにくいと感じることがあります。

23 障害者用OA機器、ソフトウェア、操作補助具

- ① ALSの方などですと、コールの押しボタンがうまく感知しないケースがあります。

24 スロープ

- ① 表面に付いている滑り止めに凹凸があるため、汚れがきれいに拭きとれないのが難点です。

25 手すり

- ① 屋内用と屋外用が別である点が不便です。共用の方が便利だと思います。

26 義肢・装具

- ① 修理や新規作成のための申請がなかなか下りないことや、メンテナンスに出してから出来上がりまでに日数がかかることが不便です。修理に時間がかかり過ぎて、修理期間中に歩行の癖が変わってしまったという方もいます。
- ② 交換頻度が高く、サイズが変わるたびに病院に行って採寸などをしなければならぬのが煩わしく思います。
- ③ 義足のインテリジェント化が進んでいないと思います。海外製のように、モーターやセンサーを使用した製品を福祉機器として認定してほしいです。